

科目名	実践競走馬学
開講期間	10月～2月 毎週月曜日（全15回＋レポート）
講義時間	16時30分～18時
履修時間数	22.5時間（1.5時間×15回）
単位数	2
授業形態	講義（対面又はオンライン） オンデマンドによる補講あり
担当教員名	田上 正明（帯広畜産大学・特任教授） 他 競馬業務・競走馬スポーツサイエンス専門家
授業概要	
<p>競馬産業にたずさわっているオーナー、調教師、厩舎関係者、生産育成関係者が、明日からの競走馬管理に即戦力となる情報、技術を聴講し、討議する講義となっている。競走馬の管理について、より発展した知識や対処方法を養うための授業内容である。</p> <p>予習・復習および試験、その他の情報提供等のために、Moodle を使用する。プログラムを学ぶ実践講義として役立てていただきたい。</p>	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 競走馬の医学情報と競走成績について理解する。 2. 競走馬のスポーツサイエンスについて理解する。 3. 競馬の馬場やゲートについて理解する。 4. 競走馬の栄養管理、飼養管理を討議できる。 5. 競馬サークルで活躍する者からの意見を聴講し、経営やマネージメントを理解する。 	
授業計画	
<u>競走馬医学</u> 1.競走成績と疾病 2.競走成績と疾病 <u>スポーツサイエンス</u> 3.トレーニングの科学、運動機能評価法 4.競走馬のリハビリテーション学・温泉療養 5.勝つための飼葉道ベーシック 6.勝つための飼葉道アドバンスト <u>競馬工学</u> 7.競馬とスタートゲート 8.走路と馬場特性、競馬場の造り 9.競走事故およびドーピング 10.馬装具・馬アイテム <u>国際・競馬マネージメント</u> 11.データサイエンスを利用した競馬と血統 12.世界の競馬と生産地 13.海外の競走馬厩舎	

14.厩舎マネジメント 15.中小規模牧場が期待する競馬 16. 総括とレポート作成提出 ※授業中の質疑応答を評価することもある ※講師の都合により、講義の順番が変更になることがある。
キーワード
疾病と競走成績、スポーツサイエンス、栄養学、リハビリ、馬の温泉、馬場・走路、ドーピング、SNS、AI、マネジメント、海外・世界
テキスト・配布資料
各回で moodle により資料データを配布する
成績評価の基準と方法
レポートにより総合して評価する。 基本的に、15 授業項目ごとに 200 文字以内で学習内容をまとめ、それとは別に実践すべき競走馬管理を 1000 字程度でまとめたレポートを基本とする。 最終的に評点は 100 点満点に換算し、60 点以上で合格とする。